

広報誌

地域とともに歩むしらゆり会

しらゆり

shirayuri

第 36 号

2020.8 August





社会福祉法人
しらゆり会

広報誌

地域とともに歩むしらゆり会

しらゆり



c o n t e n t s

2 理事長挨拶

しらゆり第36号 発刊によせて

3 法人基本方針

令和2年度運営方針
しらゆり会役員等名簿

4 新施設長就任のご挨拶 永年勤続者表彰

5 新規採用職員紹介

6 令和元年度寄付・寄贈 施設整備事業 苦情処理状況

7 令和元年度決算報告

8 施設活動報告

- 救護施設 泉の園
- 障がい者支援施設 希望の園
- 相談支援事業所 ねくすと
- 共同生活援助事業 互助の館
- 障害福祉サービス事業 ワークセンター島根
- 障がい者支援施設 光洋の里
- 生活介護事業 さざなみ
- 軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷
- 特別養護老人ホーム 詔光の里
- 老人デイサービス事業 きらめき
- 老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい
- 訪問看護ステーション 暖心
- 居宅介護支援事業所 ナイス
- 児童福祉施設 しらゆり保育園
- 児童福祉施設 しらゆり第2保育園
- 児童福祉施設 しらゆり第3保育園
- 児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園

23 視察研修旅行記



しらゆり第36号

発刊によせて

社会福祉法人 しらゆり会

理事長

国頭 正治

2020年。東京オリンピック・パラリンピックをはじめとして、何か新しい変化を求め、期待に夢膨らんだスタートを感じた人も多かったのではないのでしょうか。しかし、新型コロナウイルス禍に世界の多くの人が困難な環境での生活を余儀なくされています。

我が国における緊急事態宣言解除後、今後のコロナ対策を継続しつつ新しい生活様式により、今までの価値観とは違う環境が定着していくのか分かりませんが、様々な考え方によって、より進化した良い方向に進むことを願っております。

我々福祉の事業所においては、介護を含め濃厚接触を避けることはできません。日々感染への恐怖と闘いながら業務を果たさなく

てはなりません。しかし、施設内で一旦感染が広がれば取り返しのつかない状態となります。また、施設職員の家族を含め、その影響を最小限に食い止めるためには何が必要か、日々模索が続いております。

コロナ禍により、今までとは違う価値観で日々の生活や事業体のあり方。グローバル化した供給網の見直しなど、考え直すことが求められています。医療・介護の崩壊につながるないあり方とは、予防体制を含め長期的に検討を進めなくてはなりません。まだ十分なコロナウイルスについての詳細が分からない状態で、未知な対応をしなければなりません。

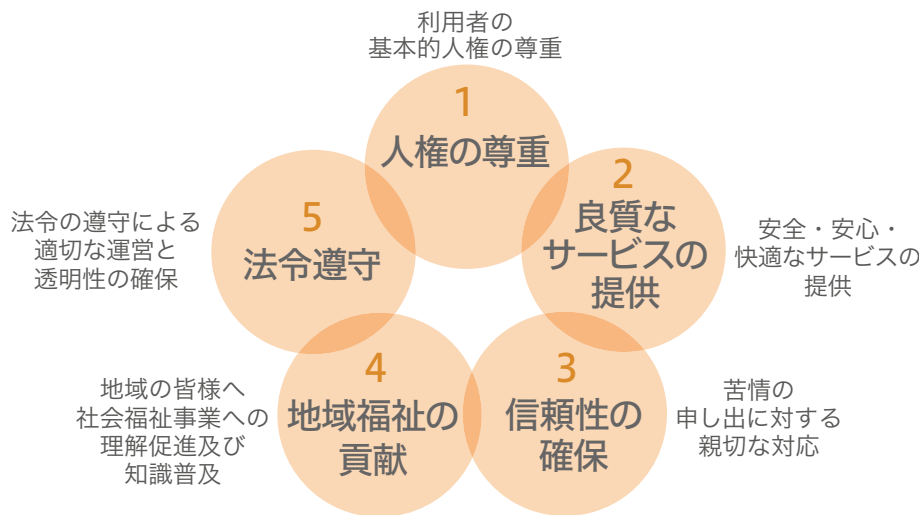
また、例年以上の地震の多発、風水害の

起きやすい時期を迎えます。二重、三重の備えが必要となります。各事業所でのイベントや行事も中止し、感染拡大を起さぬ対応で苦慮しております。今年はこれでもう安心とはならず、リスクを抱えての1年になりそうです。このような環境の中でも、継続することを考えながら取捨選択を繰り返し耐え続けなければなりません。コロナウイルスとの共存がどこまでできるのか、一人ひとりの命を守るためお互いを思いやる気持ちを忘れず、日々努力を重ねてまいります。

そのためにも、今後とも地域と共に歩むしらゆり会にご支援賜りますようお願い申し上げます。

法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の5つの目標を掲げ、しらすゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていたただけのように、役職員一丸となって利用者の皆様へのサービス提供に努めます。



令和2年度 法人の運営方針

2040年を見据えた社会構造の変化、地域社会の変容など、社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変化している。こうした社会変化を捉え、複雑化するニーズに応え続けるためには、中長期的な視点を持った実践を含め、経営の持続性が基盤となる。また、「地域共生社会の実現」がこれからの社会保障・社会福祉の基本理念として掲げられるなか、しらゆり会もその中核としての役割を担っていかねばならない。

今後もしらゆり会が地域におけるセーフティネットとしての役割を担い続けるために、これまでの社会福祉法人をめぐる動向を振り返り、今後の法人経営の在り方について考えるとともに、地域共生社会の実現に向けて存在意識を高め、必要とされる法人運営を目指していく。

重点目標

一．人材管理の強化

「働き方改革関連法」の施行によって労働環境に大きな変化が生じている。適切に法令を遵守することに加えて、法人を支える職員を「人材」として捉え、職員が質の高い仕事ができ、かつ安心・安全に働き続けられる職場づくり・組織づくりを積極的に進めていく。

二．保育事業の検討

令和元年10月に教育・保育の無償化がスタートし、また、子ども・子育て支援制度についても施行から5年を迎え、見直しの議論が進んでいる。社会情勢や政策動向、さらには、少子高齢・人口減少の進行など地域社会の変化を適切に捉えながら、今後の保育事業経営のあり方について検討を深めていく。

三．泉の園移転計画

令和3年度の開設に向けて、補助金に係る市との協議、新園舎の建築工事など、課題を整理しながら関係機関とも連携を密に取り、適切に準備を進めていく。

しらゆり会役員等名簿

令和2年4月現在

(任期/令和元年6月24日/令和3年定時評議員会終結まで)

職	氏名	現在の職業及び公職
理事	国頭 正治	理事長 泉の園・ワークセンター島根施設長
理事	国頭 正久	統括事務局事務局長 しらゆり第3保育園施設長
理事	比良 幸男	松江市議会議員
理事	小林 良二	社会保険労務士
理事	須谷 留	(元)松江市民生児童委員 協議会事務局長
理事	錦織 暁	(元)栄徳商事(株)常務取締役 (元)本会施設長
理事	宮廻 洋子	(元)栄徳商事(株)代表取締役
理事	廣瀬 芳徳	(元)松江市立病院 医療ソーシャルワーカー
監事	出雲あかり	

職	氏名	現在の職業及び公職
評議員	三島 進	松江市議会議員 (有)三島運輸役員
評議員	瀬崎 淳一	(有)ベリッシュヨップ 専務取締役
評議員	山本 寿子	松徳学院高校非常勤講師
評議員	上田 恭己	松江栄養調理製菓専門学校 校長
評議員	石田 正美	希望の園保護者会会長
評議員	花田 範久	山陰中央新報社論説委員
評議員	中島 修	(元)社会福祉事業団職員
評議員	竹田 純子	(元)本会施設長
評議員	小林 洋一	(元)株島根銀行 総合企画グループ審議役

詔光の里施設長 就任にあたり



詔光の里施設長
山崎 秀美

令和2年度、詔光の里施設長に就任致しました山崎秀美と申します。

詔光の里は、平成12年1月1日にしらゆり会にとって、初めての介護老人福祉施設となり、今年で20年を迎えることになりました。私もご縁あって、詔光の里開所から携わらせて頂き、今年度からは施設長として任命を頂きました。施設長としては、微力ではございますが、これからも支えてくださる多くの皆様の力を頂きながら、この大役を果たしていきたいと思えます。

思い返せば、当初措置から介護保険制度への転換時期の開所となりました。試行錯誤しながら皆で取り組んできたことを今でも時折思い出します。介護保

険制度も20年目を迎え、施設にとつてもご利用者にとつても厳しい改正が繰り返されており、

しかし、私達のご利用者への思いは変わることなく「詔光の里にお世話になって、本当に良かったです。」と喜んで頂けるような支援を続けて参りたいと思えます。

そして、法人の理念を念頭に、ご利用者様のため、より充実したサービスが提供できますように職員が一丸となり、皆様に信頼される施設となるように歩んで行きたいと思っております。

最後になりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の流行にて、ご利用者様の安全な生活を守るため、施設でも感染予防対策をいたしており、状況を見ながら強化する事もあります。皆様にご心配の声を頂き、職員一同とても励みになっております。心よりお礼申し上げます。

永年勤続者 表彰

今年度は勤続20年の表彰者は14名、10年の表彰者は5名となりました。勤続20年を迎えると海外、10年を迎えたと国内への職員特別研修視察に行くことができます。

永年勤続者 20年

施設名	職名	氏名
しらゆり第3保育園	施設長	国頭 正久
夢楽の郷	施設長	常松由美子
しらゆり千鳥保育園	課長	田中 純子
詔光の里	係長	成見 恵子
泉の園	主任	安達 由香
希望の園	主任	松浦 亮
泉の園	介護職員	竹下 裕子
泉の園	介護職員	長岡 典子
希望の園	看護師	清水まり子
ねくすと	相談支援専門員	野々村 範子
互助の館	支援員	荻田 浩
光洋の里	支援員	原 徹志
光洋の里	支援員	日野 晴史
ねぎらい	訪問介護員	河合 恵美

永年勤続者 10年

施設名	職名	氏名
しらゆり千鳥保育園	主任	平岡 幸江
泉の園	調理員	佐藤かおり
光洋の里	支援員	中原 雄次
詔光の里	看護師	奥山 春美
しらゆり第2保育園	保育士	大谷 あい

令和元年度は7名の職員が視察研修旅行に行きました！旅行記は23ページからご覧いただけます♪



新規 採用職員 紹介



光洋の里
支援員
深田 涼子
採用年月日
令和元年6月1日

早く利用者の皆様のお顔と名前を覚えて、楽しく生活して頂けるよう、笑顔で支援していきたいと思っています。



希望の園
事務員
小林 舞子
採用年月日
令和2年3月1日

4月から希望の園で事務員として勤務しております小林です。どうぞよろしくお願いいたします。



光洋の里
看護師
八谷 奈美
採用年月日
令和2年1月1日

九州の佐賀県から引っ越ししてきました。こちらの方言に癒されています。先日、大山に初登頂しました。



光洋の里
支援員
橘 七美
採用年月日
令和2年4月1日

この度、4月から光洋の里で働くことになりました。まだまだ未熟なところはありますが一生懸命、支援に取り組んでいきます。



光洋の里
支援員
岩元 蒼汰朗
採用年月日
令和2年4月1日

この度、4月1日から光洋の里で務めさせて頂くこととなりました。まだまだ未熟ではありますが、一生懸命頑張ります。



きらめき
看護師
武田 彩希
採用年月日
令和元年7月1日

昨年の7月よりしらゆり会でお仕事をさせて頂いています。お米とお酒と豪雪で有名な地元新潟県から来ました。



詔光の里
看護師
森藤 由美子
採用年月日
令和2年4月1日

今まで経験してきた事を生かして、入所者の方々が安心、安全に生活できるように関わらせて頂きたいと思えます。宜しくお願い致します。



詔光の里
介護職員
内田 祐子
採用年月日
令和2年4月1日

4月より、臨時職員から正規職員として採用になりました。より一層の責任を持って対応していきたいと思えます。よろしく申し上げます。



しらゆり第3 保育園
保育士
後山 芙希子
採用年月日
令和元年8月1日

可愛い子ども達と一緒に自分も日々成長していきたいと思えます。精一杯勤めますので宜しくお願い致します。



しらゆり第2 保育園
保育士
平岡 侑承
採用年月日
令和2年4月1日

体を動かすことが得意です。縄跳びやボールを使った遊びなど、子ども達と一緒に楽しんでいます。と思います。



ナイス
介護支援専門員
小川 和佳子
採用年月日
令和2年4月1日

ご利用者、ご家族にお会いして在宅支援のご相談やサービスマス調整をさせて頂いていただきます。笑顔で頑張ります！

寄付・寄贈

令和元年度も多くの方々から善意のご寄付をいただきました。

寄付者	施設	寄付物品
詔光の里 (いやしの館) 親族会	詔光の里 (いやしの館)	寄付金
しらゆり第3保育園 保護者会	しらゆり第3保育園	寄付物品
しらゆり第2保育園 保護者会	しらゆり第2保育園	寄付物品
しらゆり保育園 保護者会	しらゆり保育園	寄付物品
しらゆり千鳥保育園 保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄付物品

令和元年度 施設整備事業

1. 修繕関係

- 2・3F主照明更新工事 (詔光の里)
- 保育室エアコン取替工事 (しらゆり第2保育園)
- 保育室エアコン取替工事 (しらゆり千鳥保育園)

2. 備品関係

- ナースコール設備 (更新) (光洋の里)
- 天井走行リフト (光洋の里)
- 電動ベッド (3) (更新) (光洋の里)
- 畳スペース設置 (さざなみ)
- プレハブ冷凍庫冷蔵庫ユニット (更新) (詔光の里)
- クリーニング業務用乾燥機 (更新) (希望の園)
- パン業務用パイローラー (更新) (希望の園)

苦情の状況

(令和元年度)

苦情受付総数11件のうち、7件が職員に対する苦情でした。具体的には、利用者に対して職員の対応が悪いという苦情や、連絡不足による業務ミス等の内容でした。また、サービス提供に関する苦情が3件、利用者間でのトラブルに関する苦情が1件でした。

これらのお申し出頂いた苦情に対し、職員間での協議を重ね、ご本人様やご親族の皆様への説明を丁寧に行うことにより解決して参りました。

今後もお申し出頂いた苦情を真摯に受け止め、より良いサービスの提供が出来るよう精進して参ります。



しらゆり千鳥保育園
保育士
藤原 圭汰
採用年月日
令和2年4月1日

体を動かすことが大好きです。子どもたちとの関わりの中で、自分の長所を十分に活かして頑張っていきたいと思っています。



しらゆり千鳥保育園
調理員
藪内 桃子
採用年月日
令和元年5月1日

昨年度の5月からしらゆり千鳥保育園の調理員として勤めております。子どもたちにおいしい給食が提供できるよう頑張っています。



事務局
主事
島本 淳子
採用年月日
令和元年8月1日

まだまだ微力ではございますが、少しでも皆様のお力になればと思います。元気にパワフルにお仕事を出来たらと思っております。



事務局
主事
濱岡 澄佳
採用年月日
令和2年4月1日

慣れないことも多く戸惑うこともありませんが、何事にも一生懸命取り組み、一日でも早く仕事を覚えられるように頑張ります。

令和元年度
決算状況

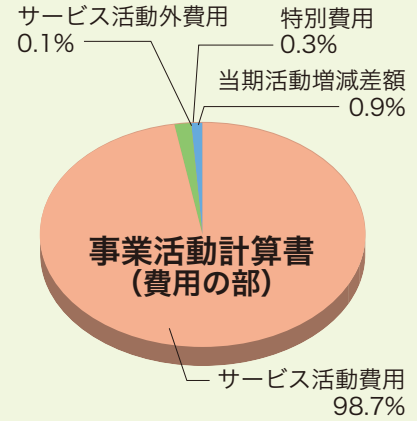
貸借
対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
流動資産	869,795,960	流動負債	303,175,853
固定資産	5,344,516,782	固定負債	186,775,238
		基本金	941,339,123
		国庫補助金等特別積立金	1,188,682,836
		その他の積立金	1,011,497,999
		次期繰越活動増減差額	2,582,841,693
資産合計	6,214,312,742	負債・純資産合計	6,214,312,742

(社会福祉法人しらゆり会)

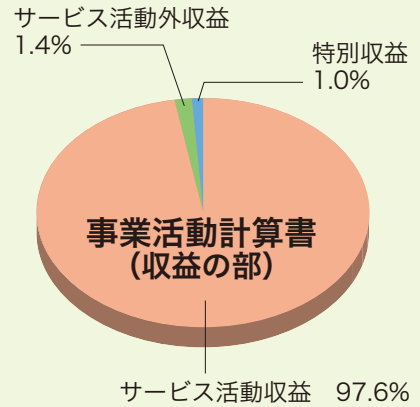


事業活動
計算書

(自平成31年4月1日) (至令和2年3月31日)

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
サービス活動費用	2,267,455,544	サービス活動収益	2,241,889,780
サービス活動外費用	1,033,706	サービス活動外収益	31,959,961
特別費用	7,544,634	特別収益	21,836,353
当期活動増減差額	19,652,210		
合計	2,295,686,094	合計	2,295,686,094

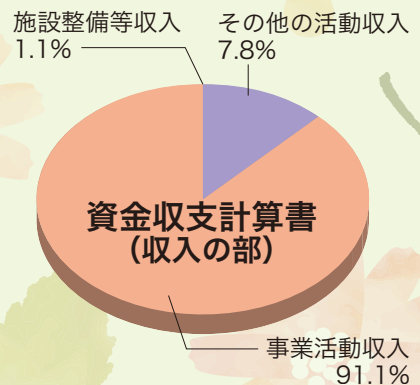
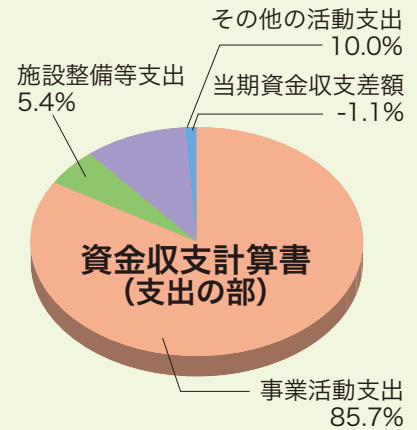


資金収支
計算書

(自平成31年4月1日) (至令和2年3月31日)

(単位：円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
事業活動支出	2,138,352,184	事業活動収入	2,272,984,656
施設整備等支出	134,407,356	施設整備等収入	26,044,354
その他の活動支出	248,182,902	その他の活動収入	195,117,715
当期資金収支差額	△ 26,795,717		
合計	2,494,146,725	合計	2,494,146,725



施設の活動報告

社会福祉法人しらゆり会では様々な取り組みを行っています。
今回も、各施設からの声をお届けします。

いんちいんち
行くぞー

救護施設 泉の園

泉 月晴れの空の下、元気に飛び回るツバメの姿が泉の園でも見られます。巣を数えたところ、三十以上ありました。昔からツバメが巣を作ると縁起が良いと言われています。他にも、

『ツバメが巣を作る家は繁盛する』
『ツバメが巣を作ると病人が出ない』
『ツバメが巣を作ると火事にならない』など、

良い事だらけです。その巣が三十以上あるとなると、泉の園は多数のツバメに守られています。巣を見ていると、歴代使われてきた巣は修繕に修繕を重ね、まだら模様で土瓶型になっています。親ツバメは巣作りに精を出し、ヒナが孵ってから食事の世話にと、忙しく飛び回っています。時には巣をすずめに占領されたりとドラマもあります。

コロナウイルス感染予防のため、不要不急の外出自粛が叫ばれている中、外を眺めながらツバメの姿を目

ツバメの恩恵



で追っている利用者様も多数おられます。泉の園として出来ることは、感染を防ぐこと。日に三回の体温測定と体調把握、食事前の手洗い・うがい・消毒、三密を防ぐなど気をつけています。行事等中止の中、単調な生活を変えることは困難ですが、職員と一緒に作ったマスクを利用者様が着けています。花柄やチェック柄など色々なマスクがあり、出会う度に目の前が明るくなります。

ツバメが巣立ちする頃にはコロナウイルス感染が落ち着いて、ツバメのご利益に感謝しながら『また来年!』と見送れることを祈ります。なんせ親二羽に雛三羽として、約百五十羽のツバメに守られているのですから。



生活介護のコロナ対策



居住棟の手すりや床を消毒中です

コ ロナ対策として皆で消毒を徹底して行っています。利用者の方も外周が出来ない為、園内で過ごすことをよぎなくされていますが、気晴らしを兼ね、天気の良い日は園の周りを散歩したり、散策したりしてストレスが少しでも軽減するように過ごしていただいています。利用者の方も積極的になら出て笑顔がみられています。

食堂にアクリル板を設置



飛 沫感染対策として食堂のテーブルにアクリル板を設置しました。これにより飛沫感染防止や、人との一定の距離を保つことが出来ます。透明であり視界も良好です。

「オンライン面会」を
始めました！

※感染拡大防止策として「面会自粛」もさせて頂いております。ご家族に会えず大変苦痛な思いをなさつていらっしゃる方も、心苦しく思っておりますが、この度「オンライン面会」をはじめました。

現状を考えた結果のタッグ



新 型コロナウイルス感染症の脅威が迫っている中、医療をはじめ、一般にもマスクが手に入らない状況がありました。そういった声も聞き、4月中旬からパン・クリーニングがタッグを組み、マスクを試行錯誤しながら作り上げました。

清潔を第一に考え、洗っても大丈夫なしっかりとした生地で作成し、細部の糸を切る。アイロンで形を整えるなどこだわりを持って作り、自信をもって販売致しました。結果は上々！販売の輪は徐々に広がっていき、施設の枠を超えていろいろな方々にご注文を頂きました。本当にありがとうございました。

1 月から、ねくすとの4人目として加わりました。入社して約20年、これまでは身体介護を主として、利用者の直接的な支援しか経験のなかった私に、突如として告げられた人事異動でした。

「相談業務」と言われて、「ふーん、利用者の相談に乗ってあげればいいのか」と浅はかな考えをしながら、忘れもしない出勤初日の出来事でした。「ホーデー」??「シントアイソー」??「シュービー」??：はあ??聞いたこともない言語が聞えいれず事業所内で飛び交い、ひどい耳鳴りと頭痛を抱えながらの帰路でした。

年齢層の広い利用者さんを対象として、その方のこれからの未来を、人生を左右するような仕事に携わることに、大きな重圧、不安が一気に押し寄せてきました…。また、この相談支援専門員という職は成り手が少なく、他事業所さんと顔を合わせる機会があった時は、相談員の増員を羨ましがられ、「ねくすとさん、良かったですね!」と声を掛けられることもありました…。さらに、次世代を担っていくよう期待された日には、こりゃえらいとこに来てしまった

新米相談員の挑戦

…と、やっと事の重大さに気付いた私でした。

しかし誰かがやらねばならない、障がいをお持ちの方の支援には欠かせない職種であり、自分の新たな挑戦と心得て、一からの勉強の日々が始まりました。

相談業務を行うにあたって、必要な資質として「聴き上手であること」と教わりました。どれだけ本人の言葉で気持ちを引き出せるか、また、限られた言語の中でその人の真意をいち早く細かく理解してあげられるか。意外にそういった本当の思いは、形式的な会議などの時にはなかなか言い出し辛いもので、逆に普段何気ない会話の中などに本音がポロリと出ることが多いように思います。やはり、何でも話してもらえりような関係作り、それをしっかりと「聴く」ことが出来る事は相談員として欠かせない資質であると思います。もちろん、専門知識、技術を備えることは言うまでもありませんが、それ以前に、利用者さんから慕ってもらい、寄り添えるような存在でありたいと思います。

新人です！勉強中です！と、今は相手

に過度の期待をされないよう保険を掛けながらの挨拶ですが、私に任せてください！と自信を持って利用者さんの支援に携われるよう、知識とコミュニケーション技術を磨き、早く一人前の相談員になれるよう努めていきたいと思えます。

小川 剛



昨

年5月から令和の年が始まりました。ご利用者の生活に大きな変化はなく、いつも通りの1年間を皆さんと共に過ごしてきました。

5月には障がい者スポーツ大会（ボウリングの部）に参加しました。参加された皆さんはお互いの投球を見ながら一喜一憂されて楽しい一日を過ごされたようです。9月には、互助の館で納涼祭を開催しました。夕食時に皆さんと会席弁当を食べ、楽しい時間を過ごしました。

また、日頃からサックスの練習をさ



「久しぶりのボウリング…楽しい～けどむずかしい～」



「納涼祭・日頃のご飯も美味しいけど、たまの会席弁当もいいねえ」



「サックスの音色をBGMに食事会、両方ともうまい!!」



「みんなで手作り、お好み焼き!？」



「避難訓練、いざという時は、みなさんと協力!」

令和初年度を振り返って

れており、外部でも演奏を披露されることもある利用者さんがサックスを演奏してくださいました。急な曲のオーダーにも応えてくれて見事な演奏でした。サックスの音色をBGMに楽しい納涼会が過ごせました。

入居の皆さんは互助の館内や施設外での行事やイベントに参加したり、ヘルパーを利用して外出先で息抜きしたりと週末はそれぞれに様々な活動や過ごし方をされています。少人数ですが、週末に集まったりご利用者の方と食材を出し合い、手料理を作ることもあ

りました。地域の清掃活動に参加したり、定期的に避難訓練を行い、日頃の生活の中で緊急時の行動をお互いに確認し合い、協力する事の大切さも体を動かしながら実施していました。

年が明けると、新型コロナウイルス感染症対策として施設としても対策を実施しながら、ご利用者の方々への各活動や生活レベルでの自粛事項へのお願いや制限のある生活の中で、手洗い、うがい等普段からすべき基本的なことの大切さとお互いの思いやりのある言動の大切さが身にしみた時期でもありました。

今後も世間の動きを見つつ、ご利用者と協力しながら暮らしていきたいと思っております。

5Sとは？

ワークセンター島根では仕事の中で「5S活動」に取り組んでいます。

「ご存じの方も多いと思いますが、職場を作業しやすい状態に整えることで、作業の無駄を省き、品質や効率を高め、かつ安全に行うための方法です。

家庭での5S

新型コロナウイルスの影響で自宅に居る時間がいつもより長いのではないのでしょうか。おうち時間を使って家庭でも活用できそうな「5S」をご紹介します。

5S

整理	必要なものと不要ものを分け、不要ものを捨てること。
整頓	必要なものがすぐに取り出せるように、置き場所、置き方を決め、表示を確実にすること。
清掃	掃除をして、ゴミ、汚れのないきれいな状態にすると同時に、細部まで点検すること。
清潔	整理・整頓・清掃を徹底して実行し、汚れのないきれいな状態を維持すること。
しつけ	決められたことを決められたとおりに実行できるよう、習慣づけること。

5S活動を家庭に取り入れて快適に

1. 整理（処分の基準を決める）

一番のポイント、かつ一番の難関です。「使えるかも」「もったいない」色々な思いとの葛藤です。職場で書類の保管期間が決まっていることを参考に、処分の基準を決めるのがよさそうです。

例えば「使い道・使用時期が決まっていないものは処分対象とする。」「〇月〇日までに使わなかったら処分」等です。

2. 整頓（使いやすいよう整える）

不要なものがない状態になったら使いやすいように収納します。大事なのは「少ない動作で取れること」です。使いやすさを優先します。

3. 清掃（時間や方法を決める）

物理的な汚れを取るだけでなく、清掃の時間を決めたり、誰が、いつ、どのような方法で行うかをシステム化していくことを言います。家庭でも掃除の時間を決めたり、家族分担して行うなどの決まりを作ると定例化できそうです。

4. 清潔（きれいを標準化）

一般的な清潔とは少し意味合いが異なります。1〜3の状態を維持することです。

5. しつけ

きれいな状態を維持していくための習慣づけのことです。全員が自発的に行い、それが定着しているような状態にすることです。すぐに身につくことは難しく、継続による時間が必要です。

5S活動の効果

物を探しまわる時間がない「時間効果」、無駄な買い物をしない「金銭効果」、そして快適空間による「精神的効果」が継続して得られそうです。

たくさんメリットがある5S活動、ぜひ取り入れてみられてはいかがでしょうか。



取り出しやすく、間違いを少なくするように工夫しています

「リフティングケア」という言葉
 を聞いたことがあるでしょう
 か？

リフティングケアとは、介護する側・される側双方において安全で安心な、持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアのことを指します。危険や苦痛を伴う人力のみの移乗を禁止し、患者や利用者の自立を考慮した福祉用具使用による移乗介護を義務付けるものとして、1998年頃にオーストラリア看護連盟が提言したものです。現在ではノーリフトとして使われるようになっていきます。日本においても、2013年に国の腰痛予防指針が改定され、「人力での抱え上げは、原則行わせない。リフトなど福祉機器の活用を促す」ことが明示されました。

持ち上げたり引きずるなどの介助を行うことによって、介助を受ける側は身体が硬くなったり、傷が出来る、うまく飲み込めない、立った時にフラフラするなどのケアによる二次障害を引き起こします。また介助をする側は、腰が痛くなったり、身体が重だるくしんどい、怪我さ

持ち上げない・引きずらない 安全なケアの実現に向けて

せそうで怖いなど心身の不調や離職者の増加につながっていきます。その為、安全で安心な介護を提供するには、福祉用具を有効に活用した取り組みが必要です。

現在光洋の里では、床走行式のリフトが6台導入され、ベッドと車いす間の移乗では少しずつ活用されるようになってきています。しかし、入浴介助の現場では、開所当初から利用者を持ち上げて車いすへ特殊浴槽ストレッチャー間の移乗を行っていました。

持ち上げない・引きずらない安全なケアを実現させる為、令和元年度自動車事故対策費補助金を活用し令和元年12月初旬に浴室に天井走行式リフトを設置することが出来ました。現在では、天井走行式リフトを活用し利用者・職員双方にとって、快適な環境で安心・安全なケアを実施しています。これからも、身体の間違った使い方をなくし、対象者の状態に合わせた介護を行い、先を見据えたケアが出来るよう介護技術の向上を行っていきます。



レールごと可動する為、固定レールの間を自由に
行き来できます



移動も円滑で、双方とも安全・
安心・快適です



リモコン操作も上下だけで簡単

平

成29年5月から月1回のペースでボランティアの尾高さんをさざなみにお招きし、レコードコンサートを開催しています。

さざなみの利用者は曜日によってメンバーが違うため、どの曜日に開催するかを決めるのが大変なくらい人気があります。しかし、新型コロナウイルスの影響で、今年の3月のレコードコンサートから「密」を避けるため自粛することとなりました。その後、4月に全国に非常事態宣言が発令され、利用者からは、「いつ復活するの?」「尾高さんは、今何をされているの?」などいろいろな質問があり、再開を心待ちにされているようでした。

5月に緊急事態宣言の解除が39県を対象に発表され、山陰両県もその対象となりました。徐々にではありますが、日常の生活に戻ろうとしています。そこで、さざなみでは、6月よりレコードコンサートを再開することにしました。

現在、レコードは、ほとんど製造されていないのが実状です。どうしても、昭和

大好評のレコードコンサート!

和時代の曲が中心になりますが、演歌にフォーク、ポップス、洋楽と、幅広いジャンルの曲を聴くことができます。もちろん、利用者の中には昭和の時代を知らない人がたくさんおられますが、レコードコンサートの時間は世代を超えてみなさんに楽しい一時を過ごしていただいているようで、レコードを聴きながら歌を口ずさんだり、踊ったり、若かりし日を思い出して話をしたりと、さまざまです。

尾高さんは、米子市在住の方で、米子市、境港市、松江市の福祉事業所を中心に、ボランティアとして回っておられます。レコードから発する音はとても心地よく、きれいなメロディーを耳に、そして、心に届けてくれます。尾高さんのレコードコンサートを利用されたことがない事業所があれば、一度お勧めします。これからも、レコードコンサートが継続されることを祈りながら、一日も早く安全に安心して過ごせる日を迎えられたらと思います。



尾高さん：「次にかけるのは、『美空ひばり 魅力のすべて』です!」



利用者さん：「いい曲だなあ!」「一緒に歌ってもいいですか?」

新

型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、感染は世界中に広がりました。感染しないよう夢楽の郷でも職員、入居者の皆様、親族様、関係機関一丸となって日々感染症予防対策に取り組んでいます。皆さんには面会や外出を控え施設内だけの生活を送っていただき、行事やクラブ活動についても自粛しなければなりません。そんな生活の中で少しでもストレス解消になればと3密に気をつけながら出来る活動を行っています。



皆さん、きれいに足上がってます

「ステイホームでも、楽しいひとときを…」

その活動の1つが「暖身体操教室」です。この教室は、シルバーカー等を使って歩行されている方を中心にした訪問看護ステーション「暖心」の機能訓練士の方に来て頂き、椅子に座ったままで出来る体操を去年の5月から月2回のペースで行っています。童謡を歌いながらの体操・タオルを使い「きよしのズンドコ節」に合わせた体操・口腔体操などを行っています。始めた頃は9名ほどの参加でしたが、徐々に増えて今では15名の方が参加されています。昨年「暖心」の機能訓練士を迎えて始まった体操教室ですが、今年度からは夢楽の郷の職員が行っています。今までの体操をベースに、脳トレを組み合わせてみたりと試行錯誤中



あれ、右?左?

す。職員が動きを忘れ困っていると「こうでしよう」と入居者の方に教えていただく事が多々あり、まだまだ頼りない職員ですが皆さん温かい目で見守っていただいています。天気の良い日には玄関前で椅子を並べて行っています。体操後は駐車場を散歩したり椅子に座って日光浴をしています。空を見上げて「雲の流れがいいわ」「あの花は何と言う花だろう?」「外だと気分がいいね」と会話もはずみ、皆さんとても良い表情をされています。まだまだ通常の生活には戻りませんが、アットホームな雰囲気の中で楽しく体操をし、毎日を健康に過ごしていただけるようお手伝いしていきたいと思えます。



ぽかぽか気持ちいい～!



はい。いちにのさ〜ん

今年で介護福祉士として、しらゆり会
詔光の里に勤務させていただいて3
年目を迎えました。はじめの頃は右も左も
わからなかった自分が、流れを覚え、全体
を考える余裕が少しずつではありますが生
まれてきました。

そんな私が入社して間もない頃の、今で
も鮮明に覚えている出来事があります。そ
れはとある利用者さまから「怒り」を受け
たことです。「怒り」のきっかけは本当に
些細なことで、普段なら気にもされないよ

傍に寄り添うことの大切さ

うなことでした。そして「怒り」の内容も
その利用者さまをよく知っていれば、「虫の
居所が悪かったのだな」と思えるようなも
のでした。

しかし当時新人の私には衝撃でした。言
葉使いも丁寧になるよう努め、なるべく他
の利用者さまと同じように接したつもりが
「怒り」を買ってしまったのです。どうすれ
ばよいのかわからず、ただひたすらに謝る
ことしかできませんでした。すぐに見かね
た先輩職員が割ってはいって来てくださり
「新人さんですのでそんなに怒らないであげ
てください」等、お話ししておられるのが
聞こえました。すると不貞腐れたような表
情はされるものの、徐々に落ち着かれてい
きました。

この時、私が思ったのは「信頼関係」で
した。新人の私とベテランの職員。利用者さ
まから見れば、普段見慣れない顔の職員とい
つも傍で世話になっている職員。経験があり、
信頼関係が成り立っているのだから、冷静
で落ち着いた対応が出来るのだと思えました。
しかし今の自分にはどちらもない。ではどう
するかと言えば、根気強く言葉掛けをして、



調子はいかがですか

関わっていくしかありませんでした。

その利用者さまと関わっていく中で、頼り
になったのはやはり先輩職員の方々でした。
私の知らない知識や情報をたくさん持つてお
られ、時に厳しく時にやさしくアドバイスを
下さいました。そして少しずつではありますが
が、あの時の「怒り」がなかったかのように
心を開いてくださいました。

最終的にその利用者さまは病気で亡くなっ
てしまわれたのですが、パーソナルスペース
を考え適切な距離で寄り添い、関わっていく
術は、その利用者さまから学ばせて頂いたといっ
ても過言ではありません。今でも時々思い出
し、誇りに思い、日々を過ごしています。

五感で楽しむ

「化粧をしたのはいつぶりだろうか」、「落とさないで帰るわ」と頬を赤く染め、紅を引き、恥ずかしそうに笑みを浮かべられる利用者さん。これは雛祭り行事の際に女性利用者さん方へお化粧をした時の出来事です。このようにデイサービス

スきらめきでは、年間行事として毎月担当職員が季節ならではの行事を開催しています。

こういった行事は利用者さんの気分転換を図るだけではなく、「いつもとは違う一面」を開花させる



雛祭り お化粧をして写真撮影



かやぶき交流館にて

働きもあります。例えば秋の散策会で訪れた「かやぶき交流館」では、利用者さん方が過去の恋愛話や体験談を懐かしそうに話されていました。いつものデイルーム内ではこのような深い昔話を聞くことはあまり無いので、聞いている職員もその姿に驚きました。かやぶき交流館の昔ながらの茅葺屋根、囲炉裏の灰や茅葺の香り、その場で飲む温かい番茶、これらが五感に作用し利用者さんの「いつもとは違う一面」を創造したと思われる体験を大切に、利用者さん方の個性を引き出す行事を開催していきたいと思えます。

年

明けより、突如として発生した新型コロナウイルス感染症。全世界で猛威を振るい、我が島根県は国内でも感染者なしの県としてラスト3県のところまで頑張っていました。4月9日、遂に感染者の発表がありました。しかも松江市内です。ねぎらいの事務所は特別養護老人ホーム詔光の里の建物内にあるので、ヘルパーが媒介となりウイルスを施設内に持ち込むことがあってもはいけません。訪問先についても同様に、お身体が弱く、何らかの持病をお持ちの高齢者が多いため、ご利用者の居室にウイルスを持ち込んではいけません。感染症拡大防止のため、やむを得ず訪問の縮小対応をしなければならぬ事態となりました。ねぎらいの事務所は部屋を場所替えし、登録ヘルパーは事務所へ寄り、直に直行直帰の対応としました。訪問についてはご本人様と連絡をと

り、訪問縮小について了解を得られた方については、回数を減らす、または中止させて頂く…という形で可能な限りの訪問自粛の措置を取らせて頂きました。当初は2週間自粛の予定でしたが、市内での感染が拡大したため、

訪問介護における新型コロナウイルス感染症対応

可能な方に限り自粛期間を5月末まで延長させて頂きました。最初の2週間訪問自粛させて頂いた方へご連絡を電話確認すると、殆どの方がヘルパーの再開を心待ちにされており、また訪問を再開した方については、食事や環境面で随分我慢されていたのだから、というご様子がお聞き、改めて訪問介護は在宅の高齢者にとって大きな役割を果たしていることを実感しました。

その後、市内での新たな感染者は出ておらず、緊急事態宣言も解除されたことから訪問自粛の解除も徐々に、5月末より訪問を完全に再開させて頂いています。また感染の第2波、第3波がくるかもしれないという油断できない状況にあります。ご利用者の在宅での生活を守っていくべく、今後も気を緩めることなく、継続して感染予防に努めながら訪問させて頂こうと思えます。



ねぎらい事務所の
お引越



おきていっしょにあそぼう♪

からないことだらけで不安と言っておられます。病院や保健師、他事業者、みんなでMちゃんの成長を共に喜び、ご家族様が安心して生活できるように支援していきたいです。

おうちがいいね (*^▽^*)

近年、新生児医療の発展に伴い、救命率が大幅に上昇しています。一方で医療的ケアを必要とする子供が増えています。医療依存度が高い重症児が増える中、地域での小児訪問看護の必要性が高まっています。しかし、家族が退院後に在宅を希望しても、社会のシステムが追い付いていないのが現状です。

暖心は、10年前から小児看護に携わっています。ここ数年で、小児の依頼も増えてきました。Mちゃんは出生時より病院で生活しており、4歳で自宅に帰ることができました。やはり家がいいようで、受診に行っても「早くうちに帰りたい」と言われるそうです。日中は母親が一人で育児をされ、Mちゃんの病気やこれから先の学校生活などを考えると、分



だいすきなしまちゃん♡

訪問看護ステーション

暖心

暮らしを支える

私が担当させて頂いている方に、転倒が原因の腰痛で思うように動けなくなり、デイサービスでのリハビリを開始された方がいらっしゃいます。

その方はお一人暮らしで、腰を痛めてからは市内に住むご家族が買物や病院などに関わって下さいましたが、1日に1人で過ごす時間の方が遙かに長く、何をすることも痛みと時間を伴うことに気持ちも沈みがちでした。

そこでデイサービスに通い始められましたが、少しずつ動きにくさや痛みが軽減していくことを実感され、今では自主筋トレが日課になるほど気持ちも前向きになっておられます。ひたむきな性格も奏功しましたが「デイサービスで自分に合ったメニューを作ってもいい、周囲の方の励ましや頑張り

居宅介護支援事業所

ナイス



しらゆり保育園では、年長児になると様々な経験をしますが、そのひとつに園の敷地内にある「お地藏様へのお参り」があります。

このお地藏様は、旧園舎の坂下にあつたお地藏様で、平成28年4月にしらゆり保育園が新園舎に移転した際、共に新園舎前駐車場入口に移設しました。

お寺の住職の方に来て頂いて入魂式を行い現在も保育園の子どもたちのことを見守ってくださっています。お地藏様は元々子どもの守り神で、交通安全なども祈願されているそうです。昔から私たちのそばで生活を見守って下さる優しい存在なのは保育園のお地藏様も同じです。

年長クラスの子が交替で保育者と一緒に花と水を持ってお参りする姿に「お兄さんやお姉さんたち、どこに行くの?」と興味を持つ子どもたちですが、自分たちがいよいよ年長児になると、まずは初めに担任とクラス全員でお地藏様のお参りをします。

今年も花を供えたり、水をあげることで、線香を立てるところを近くで見

温かな心・やさしさを育む ～お地藏様のお参りを通して～



お地藏さん、お水をどうぞ。



毎日交替で、子どもと職員でお参りをします



どのお花をお供えしようかな?

目を輝かせていました。こうしてお参りの仕方が分かると、毎日当番活動としてお参りをします。「今日は私がお地藏様当番!」と張り切る姿が見られ、お参りを終えると「お地藏様、お水とお花、喜んでくれたかな?」「またお地藏さんの当番がしたい」「あかゆりさん(年長児)が毎日するんだよね!!」と自分たちの役割だという自覚も芽生えてきています。子どもたちにどんなお願いをしたのか聞いてみたところ、「絵が上手になりたい」「足が速くなりたい」と自分のこと

をお願いする子もいれば、「みんなを守ってくれますように」「お休みしている〇〇ちゃんが早く元気になって保育園に来ますように」とお願いしたという子もあり、子どもたちの中に友だちを思いやる優しい気持ちやおだやかな心が育まれているのを感じます。職員も全職員が毎日交替でお参りし、短い時間ながら年長児との個別な関わりを楽しんでいます。

また、当番だった日には家に帰って話をする子も多く、親子の会話の一つになっているようです。先日、散歩に出かける際にお地藏様の前を通り「お地藏様、行ってきます」と声をかけ、戻ってきた時には「ただいま」と言っていた子どもたちでした。お地藏様を身近に思い、守ってくれる存在だということを感じているように思いました。

子どもたちだけでなく、園の職員みんなが温かな心や優しさが育まれていくお地藏様へのお参り。これからもお地藏様に感謝の気持ちを持って毎日欠かさずことなく、子どもたちとお参りを続けたいと思っています。

しらゆり第2保育園

保 育園での食育における栽培活動は、次の教育的目的があります。

- ① 野菜の好き嫌いの解消を促す。
- ② 五感を使うことが出来、発達を促す。
- ③ 園児が食べ物に興味を持つ機会となる。
- ④ 自然に触れることから豊かな感性の育成となる。
- ⑤ 野菜を育てながら、命を育てる実感を持たせる。



真剣に、シイタケの収穫。



炭火でシイタケバーベキュー
早く焼けないかな！



シイタケ、給食と一緒に
いただきます。

今年度は、2歳児がミニ胡瓜、3歳児がミニ胡瓜、トマト、ぶちピーマン、4歳児がにんじん、ピーマン、なすび、とうもろこし、5歳児がジャガイモ、とうもろこし、おくら、ピーマン、フレンチナス、ねぎを栽培中です。

そして、今年度5歳児にどんな野菜が育てたいか？を話し合う中で、「シイタケを栽培し、食べたい」という意見が出ました。いろいろと調べ探したところ、園児でも毎日身近に観察や

世話が出来るとシイタケの菌床栽培キットを見つけた。早速取り寄せて、栽培を始めました。子ども達もですが、保育者もシイタケ栽培ははじめて…。

5月のゴールデンウィークあけから栽培を開始、毎日成長の様子を観察していました。1週間ぐらいいして、小さなシイタケがぽこぽこ出てきました。

そして、5月の末ごろから傘が5cm程度のシイタケがたくさん出来始めました。「しいたけが大きくなってきた、見に来て！」と会う職員に話し、これぐらいと地面に絵を描いて知らせてくれる子もいました。

ところが、シイタケの菌床を覆っている透明のビニールに茶色の汁がつくようになり、子ども達から、「先生、しいたけからしょう油が出てきてる！」と報告が…。

なぜだろう？と気になったので、購入した店に尋ねたところ、「シイタケを毎日新鮮な空気に触れさせることが必要だ」とのこと。もしかして、ビニールをかぶせっぱなしにしていないか？と思いはないか？と思い、ビニールをはずし、空気に触れさせるようにしました。

楽しい食育～はじめてのシイタケ栽培からの学び～

しかし、今度は汁が出ていたシイタケがカラカラに乾いてしま…干しシイタケのようになってしまう。今度は空気に触れさせすぎたようです。

家に帰って話した子もいて、「その状態だとおじいちゃんもうだめだよって言ってた」という子もいました。

しばらく、カラカラになったシイタケを取り外し、観察を続けましたが…次のシイタケは、はえてくる気配がありません。

子ども達からも「暑すぎたんじやない？」などの声が聞かれ第1回『シイタケの菌床栽培』は一旦菌を休ませ、様子を見ることにしました。この短期間でも、子ども達は観察や気づき、疑問を持ち、真剣に「どうしたらよいだろうか？」と心を動かし、自分たちのシイタケを育てるために、難題(?)にむかって個々にまた様々に「思考」をめぐらせたのでした。

2回目のシイタケ栽培は、乾燥を防ぐためにこまめに霧吹きをしたり、保冷剤を入れたりして温度管理をしっかりとしました。その結果、たくさんシイタケが収穫できました。一人一個ずつ収穫し、炭火で焼き美味しくいただきました。「大成功!!」と子ども達も大喜びでした。

この一連のシイタケ栽培を通して、側で支える担任や周りの職員も一緒になって、毎日『シイタケ談議』に花を咲かせていました。

今後も子ども達の思いやそこから生まれるひらめきや豊かな感性、試し、思考力、協働性等をしっかりと受けとめ、栽培活動を通して子ども達の「育ち」を大切に支えていきたいと思います。

しらゆり第3保育園

令

和元年、県外のある園で、散歩に出かけていた園児16名が車の事故に巻き込まれ死傷するという痛ましい事故が発生しました。しらゆり第3保育園は、バイパス下であり、大型トラックが絶え間なく行き来する交通事情の中、散歩に出かけることになり、しかし、子ども達は散歩を通して、交通ルールを学び、自然や地域の方々と触れ合いながら、感受性や社会性を育みます。集団で歩くことは、協調性を養い、健康増進につながります。



手をしっかりあげて「ここにいるよ!!」の合図を運転手に送り、安全に横断歩道を渡ります。



「散歩マップ・マニュアル」

そこで、この事故を対岸の火事にせず、より安全に散歩をするため

にはどうすれば良いのか見直し考えることにしました。

一つ目は、「散歩マップ・マニュアル」の見直し作成を行いました。はじめに、専門リーダーを中心に、リスクマネジメントについて話し合いました。そして、全職員で分担し、22個所の散歩コースを実際に歩き、経路や散歩先での危険箇所を写真に収め、その対応策や子ども見のポイントを書き出しました。さらに、近くの交番や、AED設置場所を調べて加えました。散歩先の魅力や、保育のポイント、適正年齢も明確に明記しました。また、マニュアルに併せ、「園外保育実施計画届書」もリスクマネジメントの観点から内容を見直しました。特に、下見の状況、出発・帰園時の人数確認報告は漏れがないように確認できるような書式に改善しました。

二つ目に、危機管理の研修を行いました。外部研修で得たことを園内全体で情報共有しました。事例からのワーク後に、初動、複数間での連携、子どもの安全確保など、時系列で確認しまし

散歩におけるリスクマネジメントの見直し

た。また、散歩の準備物を見直し、防犯ブザーと事故発生時の記録について不十分だったことを認識し、ボード・紙・筆記用具を加えました。

今回、担当年齢によってはかけられないかもしれない遠方の散歩先もありましたが、すべての経路や散歩先についての情報と安全対策を全職員で共有することができました。そして何よりも、園全体で共通の課題に向かつて個々が責任を持って取り組んだことは、散歩の安全に対する職員の意識を同じベクトルにすることができ、とても有効でした。

今後は、散歩マップ・マニュアル等、作った事に満足するのではなく、全職員で常に安全を意識し、気づきを伝え合い活かし、更に良いものに改善していかなくてはなりません。併せて危機管理についての研修は繰り返し行いたいと思います。そして、私達は、子ども達が心を



自然の中は発見がいっぱい！
「みてみて！なんかいるよ！」

開放し、たくさんさんの学びのある安全な散歩を楽しめるように努めていきたいと考えます。

しらゆり千鳥保育園

杉の大木がそびえ立ち、お地藏さまが並んでいる風景。まるでジブリアニメの「トトロの森」に迷い込んだようでした。石橋町の千手院の裏山に、子ども居場所づくりの一環でボランティアの方々が開拓された「千手院の森」です。

以前から「遊びにいらっしやい」と声をかけていただいております、4月の終わりに笹掘りにあかゆりとささゆりで出かけました。千手院の裏手の細道を抜けると、竹藪に囲まれた大広場が眼下に広がりました。竹で出来たベンチやオブジェがあったり、迷路のような階段があったりと子どもたちは「冒険みたい」とつぶやきながら歩いています。やがて「見て!! 筍がいっぱいある」の大歓声が沸き上がりました。子どもたちは筍めざして一目散です。

どの筍も斜面に生えていましたが、子どもたちは足を踏ん張り、数分間ひたすら押し続けていました。すると「バキッ!!」ともものすごい音がし、思わず振り返ると自分の身長ほどもある大きな筍を抱えた笑顔の子どもたちがいきました。「なんか匂いがある」「水がいつぱい出てき

千手院の森との出会い ～地域の方に支えられての体験活動～

た「手に茶色の毛がついた」とささぎまな発見をする子どもたち。2mから手のひらサイズの物まで45本も採れました。

園に持ち帰って、皮を剥いだけりクッキングをしたりして五感をフルに使って楽しむことができました。このように五感をフルに使うダイナミックな活動ができる

場ができた喜び、その場所を整えてくださる方々がおられるありがたさを感じました。五感を通じた体験活動の必要性を、筍としっかり出会うことができた子どもたちの表情から再確認することができました。

筍は子どもたちのおなかの中に納まりましたが、あかゆりさんとささゆりさんの部屋にはたくさんさんの生き物もいます。



「みて!カタツムリが、みんなでさんぼしてるよ!」



みんなで力を合わせてたけのこをとるよ!!



地元のボランティアの方に子どもたちの成長を願い、桜の苗木を植えてもらいました

あかゆりさんの部屋には、カニさん・カメさん・ザリガニさん・メダカさん・オタマジャクシさんがいます。ささゆりさんの部屋には、カタツムリさんやイモリさんもいます。先日はそのカタツムリさんが産んだ卵が孵り、かわいい赤ちゃんカタツムリが姿を現しました。あかゆりさんはザリガニさんの脱皮や蝶の孵化を見ることができています。子どもたちは「命」を見守ることや育むことも体感しています。

「千手院の森」には、未来ある子どもたちのために「千鳥の桜」と名づけられた苗木をボランティアの方が植えてくださいました。子どもたちも苗木もきつと大きく育つてくれると思います。生き物については、造形でお世話になっています。先生との出会いが一因となっています。植物と生物の違いはありますが、どちらも子どもたちに人との出会いとワクワクドキドキ感を与えてくれています。どうかこれからも、子どもたちに素敵な人・事・物の出会いがありますように。

視察研修旅行記



令和元年度は、勤続10年を迎えた職員7名が北海道から南は沖縄まで、全国各地に視察研修に訪れました。それぞれの施設で学んだこと、気づきを旅行記としてまとめてもらいました！

特別研修視察

施設名	視察研修先	氏名
① 泉の園	救護施設仁風園（福岡県）	松浦 真美
② 詔光の里	正栄会特別養護老人ホーム（鹿児島県）	田村 仁
③ 詔光の里	特別養護老人ホーム飛鳥（福岡県）	濱崎 明子
④ しらゆり第2保育園	中立保育園（京都府）	杉中 みどり
⑤ しらゆり第3保育園	認定こども園ひかりのこ札幌（北海道）	春木 ひとみ
⑥ しらゆり千鳥保育園	太陽の子保育園（沖縄県）	小谷中由利香
⑦ しらゆり千鳥保育園	大谷林園保育園（京都府）	杉峠 由貴

① 救護施設 泉の園 「仁風園」を訪ねて

松浦 真実



きな一因でした。

居宅生活訓練事業は現在3名が利用中で、園内にある生活支援室・法人事業所ビルの一室・民間アパートを法人が契約し、利用者様の能力に応じて「利用者様の今できる事を強みに自信に繋げ、地域生活により近い環境のもとで、生活訓練を行う事や、退所後も困った時には支援する体制をとっている」と言う事でした。

この研修で学んだ事を、今後のより良い支援に生かせる様、自己研鑽に努めていきたいと思います。

永年勤続10年研修旅行で、福岡県にある救護施設仁風園を視察研修させて頂きました。多種事業を運営しておられる法人で、居宅生活訓練事業にも力を入れておられました。

路上生活者や厚生施設から退所された方が生活の場に困り福祉事務所や医療機関からの依頼が近年では増えており、障がいをお持ちの方も多いと伺いました。多様な利用者様の受け入れが可能なのは、関連法人に病院がある事が大



特別養護老人ホーム「愛泉園」を訪ねて

昨年度永年勤続10年を迎え、特別研修視察で鹿児島県の山奥にあると言っても過言ではない、入所定員70名、シヨートステイ11床と、特養としても大きい、社会福祉法人正栄会特別養護老人ホーム愛泉園へ行かせて頂きました。

施設に案内して頂くと、本格的なトレーニングマシンが数台。高齢者向けに特化した使用感や重量であるものの、職員も日々筋トレに励み、腰痛予防や筋力維持に努めているとまでは言われませんが、人手の少ない中、利用者様の日課に筋力トレーニングを取り入れ、作業療法士が付き添いながら筋力維持に努めておられるそうです。

特に力を入れている日中活動は陶芸で、陶芸は本格的な窯があるほど。講師は外部から招き教えて頂くそうですが、利用者様が作った作品を施設の行事等で販売し、そのお金で土や陶芸に使う道具などを買っているそうです。人手不足の多い特養では、外部講師を招きサークルとして活動することは

多いですが、窯を持ち利益まで出す事に大変驚きました。行事で販売すれば売れ行きもよく、作側の利用者様も励みになるようです。ただ、職員は人手不足の状態

で活動しているとのこと。さて、この視察を活かし私たちに何ができるのか。土地柄の違いはあるものの、同じ特養であり同じ人手不足。それにも関わらず利用者様が充実した施設生活を送っておられる事に根本的な違いを感じたのは、法人と施設が明確なコンセプト、目標を掲げ、それに向かい職員が向かっていること。当たり前のようですが実現出来ている施設は少ないのではないのでしょうか。今一度施設の在り方を考える良い機会となりました。



座った状態で運動が出来る器具

特別養護老人ホーム「飛鳥」を訪ねて

夏空がまぶしく感じとられる頃となった去年の7月、福岡県福岡市の特別養護老人ホーム飛鳥へ視察研修旅行に行かせていただきました。福岡は博多を代表する祭り、「山笠」のシーズン中、視察に向う道中町の至る所に「飾り山」と言われる絢爛豪華に飾られた山笠が公開されていきました。

特別養護老人ホーム飛鳥は駅から近い住宅地で地下鉄などの公共施設があり、親族様が通うには便利な場所にありました。8階建のビルで特別養護老人ホーム、シヨートステイ、ケアハ

ウス、デイサービス、があり一日に90名のご利用があるそうです。厨房の取組みの一つとして、全国の郷土料理や駅弁を提供されていました。郷土料理は、利用者様に、より旅行気分を味わってもらう為にその地域の観光名所等を掲載した、パンフレットを作成し、食事と一緒に配布されていました。駅弁は品数も多く、

本物の駅弁にひけを取らない見目でした。これを手作りされていると聞き驚きました。このような取組みは今のコロナウイルスの影響下で外出できない中、利用者様の気分転換になったり、

旅行の思い出などの会話や笑顔が増えるような機会を提供できると思いました。

日々業務をする中でこの度の視察を通じて勉強させて頂いた事を心に留めて活かしていきたいと思

中立保育園を訪ねて



運動会前で竹馬の練習をしていた。この日は保護者の方も保育士体験をしておられ一緒に手伝いをしておられた。

私は京都の中立保育園へ研修視察に行きました。子どもに接する姿勢や考え方は他県の保育園でも変わりはありませんが、取り組みは独自のものがあります。視察先の園は、地域の方と深く関わっていて、地域全体で子育てをしているという印象を受けました。園内の活動に留まらず、園外に出て、保護者の働いている姿を子どもが見に行くなどの経験もしておられました。『楽しい保育は子どもが自ら話したくなる保育。その話から保護

者は子どもと関わり、共に楽しく成長していく。』このような考えから、子どもの小さなつぶやきを大切に、地域を巻き込んだ保育活動をしておられました。

この視察研修を通して、自身自身の保育を見直す良い機会となりました。今年度は新型コロナウイルスと密に関わることが難しい部分もあるかと思いますが、職員だけでなく保護者や地域と共に作り出す『子ども達を支える輪』を一層大切にandraながら今後ともより良い保育を進めていきたいと思われました。視察研修に参加させて頂き貴重な体験になりました。本当にありがとうございます。



こども園「ひかりのこ札幌」を訪ねて

この度、北海道札幌市の認定こども園「ひかりのこ札幌」において、保育環境や取り組みなどを視察させていただきました。

子どもは主体的に環境に関わり、とてもいい表情で遊んでいました。環境を通して主体性を育み、「やってみたい」「上手くなりたいたい」などといった子どもの気持ちや意欲を受け止め、満

足感や達成感などを感じられるよう寄り添っていききたいと思えます。

園長先生がおっしゃった『これからの未来を生き抜く力をもつ子どもを育てていかないとけない』という言葉がとても印象的でした。改めて私は、乳幼児期というとても重要な時期に携わっている自覚と責任をもって、子どもと関わっていききたいと感じました。

永年勤続10年の節目に、視察研修という、とても貴重な経験をさせていただいたことを感謝しています。今回の学びを今後の保育に活かしながら、スキルアップできるように努力していきたいと思えます。



太陽の子保育園を訪ねて



私は沖縄県名護市にある社会福祉法人節和福祉会「太陽の子保育園」を視察研修させていただきました。

太陽の子保育園は、「人間力を育む保育」を特色とし、自然体験活動を多く取り入れられています。沖縄という地域性が存分に活かされていると感じました。

海での体験活動が多いので、職員が実際にあったヒヤリハットをもとに協議を重ね、危機管理マニュアルを作成されたようです。保護者の方の理解と協力を求めるために、子どもたちと一緒に体験活動をしていただきたり、活動の様子をしっかり伝えたりすることに努められました。今では、保護者会の役員をやめると子どもたちと疎遠になってしまうという理由で、保護者会も解散されています。「みんなで声をかけあって子どもを見ていこう」という姿勢が、保護者の中に定着したとの説明もありました。

子どもを中心とした保護者と保育園の連携。今後の保育に活かしたい、新たな視点を得ることができました。

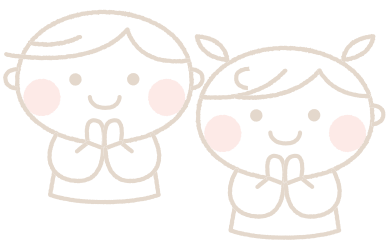
大谷園林保育園を訪ねて

私は京都市にある大谷園林保育園を視察研修させていただきました。

大谷園林保育園は、平成30年4月に開園した新しい保育園です。仏教精神と阿弥陀様を敬う心を育てることを保育目標に保育をされていました。

視察当日は、園の特色でもある礼拝の日でした。3歳・4歳・5歳児が遊戯室にある阿弥陀様の前に集まり、合掌と礼拝をしたり、君が代や仏様の歌を歌ったりする様子を見学させてもらいました。幼児期に数珠を手に取り、落ち着いた気持ちで合掌と礼拝をする姿に驚きました。

今回の視察研修では、自分自身が心を穏やかにしてどれだけ過ごせていたのかと振り返る機会になりました。



宗教の有無に関係なく、子どもに関わる者の心の有りよう、そこから表れる言葉が子ども育ちにも関係してくることを感じ、今後、自分自身が心穏やかに過ごすことを念頭におき、子どもたちに関わっていこうと思えました。

社会福祉法人第2条 第2項	第1号	生活保護法に規定する 救護施設	救護施設 泉の園 松江市矢田町 472 TEL.0852-24-3512 / FAX.0852-27-6987
	第3号	老人福祉法に規定する 特老、軽費老人ホーム	特別養護老人ホーム 詔光の里 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-4165 / FAX.0852-27-6982
			軽費老人ホームケアハウス 夢楽の郷 松江市山代町 933-9 TEL.0852-31-9036 / FAX.0852-31-9038
	第4号	障害者総合支援法に 規定する障害者支援 施設	障がい者支援施設 希望の園 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-0791 / FAX.0852-21-2829
障がい者支援施設 光洋の里 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5400 / FAX.0859-45-5411			
社会福祉法第2条 第3項	第2号	児童福祉法に規定する 保育所	児童福祉施設 しらゆり保育園 松江市大庭町 135-1 TEL.0852-22-3803 / FAX.0852-60-7132
			児童福祉施設 しらゆり第2保育園 松江市西持田町 336-5 TEL.0852-23-3340 / FAX.0852-60-7131
			児童福祉施設 しらゆり第3保育園 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-26-2356 / FAX.0852-60-7130
			児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園 松江市北田町 188-3 TEL.0852-21-3440 / FAX.0852-60-7135
	第4号	老人福祉法に規定する 事業	老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3328 / FAX.0852-27-6982
			老人デイサービス事業 きらめき 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3370 / FAX.0852-27-6982
	第4の2号	障害者総合支援法に 規定する障害福祉 サービス事業	就労継続支援A型事業 ワークセンター島根 松江市矢田町 250-110 TEL.0852-22-4105 / FAX.0852-31-1167
			生活介護事業 さざなみ 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5407 / FAX.0859-45-1107
			共同生活援助事業 互助の館 松江市東津田町 1324-1 TEL.0852-67-3500 / FAX.0852-67-3500
			相談支援事業所 ねくすと 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-5080 / FAX.0852-21-2829
社会福祉法 第26条 第1項	施行令 第4条	介護保険法に規定する 居宅介護支援事業他	居宅介護支援事業所 ナイス 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3288 / FAX.0852-27-6982
			訪問看護ステーション 暖心 松江市山代町 934-5 TEL.0852-28-0906 / FAX.0852-27-6982



表紙写真

**「出雲国山代郷遺跡群
北新造院跡」**

しらゆり第3保育園から1.4キ口。湖東中の裏あたりに位置します。地域には、他にもたくさんの自然や歴史の産物が溢れています。子ども達は、大樹に囲まれ、自然の息吹を感じながら、全身を使って遊びます。豊かな体験を通して感じ、考え試し、たくさんのことを学んで欲しいと願っています。

編集後記

新型コロナの感染拡大によって、私たちの生活は一変しました。仕事の仕方、会話やコミュニケーション、食事や買い物、趣味や娯楽のあり方など、多くの人がこれまでとは別の方法で日々を送っています。

当法人においても、行事の自粛や面会制限など、さまざまな影響を受けました。現在も限られた条件の中で、工夫を凝らしながら毎日を過ごしています。

このような中で、全国の病院でウィルスの治療にあっている医療従事者の方々、ステイホームを支えてくれる小売・物流・公共交通機関等ライフラインを担うエッセンシャルワーカーの方々には、改めて心から感謝いたします。

最後に、発刊に際し、ご多忙中にもかかわらずご寄稿いただきました方々に、心よりお礼申し上げます。



就職活動中の皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大の影響で就職活動が困難な方々に向けて、オンライン上でガイダンス、面接を行える環境を整えました。ぜひご活用ください。